

豊橋市議会傍聴記

地方政治
クリエイト
伊藤 秀昭

豊橋市議会6月定例会は6日から一般質問を行い、18人が登壇し多角度からの質問を展開した。

◆福祉回数乗車券 寺本泰之氏(絃基会)は、高齢者社会参加支援事業として行われている電車・バス共用福祉回数乗車券の業者への支払方法が、使用済みの枚数でなく、利用申し込みの8割が利用したとみなして支払いが行われていることを問題視した。

福祉部長は「電車や路線バスでは運賃箱に乗車券が投入されることから、

くりを進めているが、果たして国がいうように居住や民間生活利便施設を誘導することなどできるのか」と、問題提起したのは杉浦正和氏(自民)。

杉浦氏は「集落地域においては人口流入策としての住宅建設許可の緩和に加え、同時にコンパクトな集落の形成のためのエリア設定を前提とした制度作りが必要ではないか」と提案し、答えた。

◆熊本地震の教訓 沢田都史子氏(公明)は熊本地震の教訓から大規模災害に備えた防災・減災対策について聞いた。

◆防災対策 近藤修司氏(自民)も防災対策について質問した。

◆JK広報室 長坂尚登氏(豊橋だいすき会)は市民団体から名称変更の申し出があった「JK広報室」について質問した。

◆男女共同参画 「今回男性という特質をもった一人の議員として、伺います」として男女共同参画について質問したのは星野隆輝氏(まじろフォーラム)。

熊本地震の教訓を生かせ

難者数を5万人と設定し、1日3日を提供できる45万リを確保し、市内26カ所に飲料水兼用耐震性貯水槽を用意している」と答えた。

また、発災時における職員参集の課題や避難所運営における

益城町や宇土市では災害対策本部として機能しなければならぬ庁舎が被害に遭い使用できず大混乱したことから、本庁舎の耐震と本庁舎が機能しなかった場合の対応について質問した。

◆JK広報室 長坂尚登氏(豊橋だいすき会)は市民団体から名称変更の申し出があった「JK広報室」について質問した。

◆JK広報室 長坂尚登氏(豊橋だいすき会)は市民団体から名称変更の申し出があった「JK広報室」について質問した。

◆男性が質問する 「文化市民部長は「壮年層をターゲットにした講座内容を充実させ、男性意識の改革を図っていくことが最も重要です」と答弁していたが納得できる議論だった。